

平成 25 年 11 月 12 日

会社名 株式会社アールテック・ウエノ

問合せ先 ビジネスマネジメント部長 中村 宏司

電話番号 03-3596-8011

平成 26 年 3 月期第 2 四半期の業績に関するお知らせ

本日、当社は平成 26 年 3 月期第 2 四半期決算短信を発表しましたのでお知らせします。

当四半期における主な内容は以下の通りです。

【四半期実績推移】

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月 第 2 四半期	平成 25 年 3 月 第 3 四半期	平成 25 年 3 月 第 4 四半期	平成 26 年 3 月 第 1 四半期	平成 26 年 3 月 第 2 四半期	対前年同期	
						増減額	増減比
売上高	1,093	1,205	1,513	1,519	1,275	181	16.6%
レスキュラ®点眼液	419	267	887	449	348	△70	△16.9%
AMITIZA®カプセル	585	914	596	1,063	859	274	46.9%
研究開発支援サービス	88	23	29	6	67	△21	△24.5%
売上総利益	708	718	969	979	803	95	13.5%
研究開発費	206	339	455	330	318	112	54.6%
営業利益	300	165	312	457	256	△43	△14.4%
経常利益	297	220	367	502	253	△44	△14.9%
当期純利益	205	139	211	352	181	△24	△12.1%

【計画達成率】

(単位：百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2014年3月期 (第2四半期計画)	上期計画に 対する達成率	2014年3月期 (通期計画)	通期計画に 対する達成率
売上高	2,794	2,669	104.7%	5,308	52.7%
レスキュラ®点眼液	798	787	101.3%	1,442	55.3%
AMITIZA®カプセル	1,923	1,842	104.4%	3,712	51.8%
研究開発支援サービス	73	38	191.4%	152	48.3%
営業利益	713	647	110.2%	1,285	55.5%
経常利益	756	676	111.7%	1,315	57.5%
当期利益	533	439	121.3%	855	62.4%

売上高、利益共に堅調に推移しております。

経営に関する最新情報（平成25年7月1日から現在まで）

- ・平成25年7月16日、AMITIZA®カプセルの納品価格変更等により増収となる見込みのため、業績予想の修正を発表いたしました。
- ・平成25年7月18日、当社取締役と従業員に対して株式報酬型ストック・オプションとして新株予約権を発行することを発表いたしました。
- ・平成25年9月9日、大阪地方裁判所において、上野製薬より訴訟の提起を受け、訴訟の帰趨が当社業績に影響を及ぼす可能性はあるものの、当社の主張が認められると確信しており、現時点では影響がないことを発表いたしました。
- ・平成25年10月21日、網膜色素変性に対するウノプロストン（開発コードUF-021）点眼液の第3相臨床試験の症例登録が完了したことを発表いたしました。
- ・平成25年11月6日、重症ドライアイに対する遺伝子組換え人血清アルブミン（開発コードRU-101）点眼液の第1相/第2相臨床試験のステージ1を完了し、ステージ2の症例登録を開始したことを発表いたしました。

本日、平成26年3月期第2四半期決算短信について、経営陣を代表して当社代表取締役社長 眞島行彦は、以下のコメントを発表しました。

「本日、平成26年3月期第2四半期決算短信を発表しました。業績については、平成25年7月16日に行った業績予想に対して、順調に推移しております。

研究開発については、国内で網膜色素変性の第3相臨床試験の症例登録が完了したことに加え、米国でドライアイの第1相/第2相臨床試験のステージ1が終了し、第2相臨床試験前期に相当するステージ2の症例登録を開始したこと等、臨床試験が順調に進んでおります。また、現時点で非臨床段階の研究開発パイプラインにつきましても、臨床試験を開始出来る様、着実に準備をすすめております。

今後も安定的に既存製品を供給しつつ、アンメット・メディカル・ニーズ対応やオーファンドラッグを積極的に開発し、社会に貢献していきたいと考えております。」

以 上